

議 事 録

会 議 名	令和6年度第2回三芳町地域公共交通協議会
開 催 日 時	令和6年7月16日(火) 10時00分開会 11時00分閉会
開 催 場 所	三芳町役場5階501会議室
主宰者氏名	三芳町地域公共交通協議会
出席者	林会長、西内委員、忽滑谷委員、照井委員、藤田委員、廣瀬委員、坂井委員、島根委員、永山委員、板谷委員、山田委員、篠原委員、小池委員、若林委員(代理：新井主幹)、井上委員(代理：高柳副課長)、西山委員 三芳町地域公共交通計画策定支援業務委託事業者 担当2名
欠席者	関根委員、内田委員、金子委員
傍聴人	なし
事務局職員	政策推進室 室長 島田高志 副室長 南雲玲 政策推進担当 主任 萩原春香
<p>総会次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 <ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 地域公共交通計画骨子案について 第2号議案 施策・事業の検討について 第3号議案 三芳町運賃協議分科会設置要綱について 4 閉 会 	
<p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案について委託事業者より説明し、原案のとおり承認を得た。 ・第2号議案について委託事業者・事務局より説明し、「令和7年度実証実験(案)について」は再検討し、その他は原案のとおり承認を得た。 ・第3号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。 	
<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三芳町地域公共交通計画 骨子(案) ・各種交通手段と役割について ・想定される課題と、各サービスの有効性について ・令和7年度実証実験(案)について ・一般乗合旅客自動車運送事業の(運賃)協議会について ・三芳町運賃協議分科会設置要綱(案) 	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果

	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事 第1号議案 地域公共交通計画骨子案について 第1号議案について、委託事業者より説明を行った。</p>
委員	<p>計画の内容構成について改めて説明する。概要・計画を作るにあたり、現状を把握し、区域内における交通に関わる課題・問題を整理することが非常に大事。その上で、問題解決に向けた方針・目標を設定し、目標達成のための具体的な施策の案を示し、その効果について明示した上で、実際の達成度を評価するという ことまで記載があれば計画として問題ない。今回の骨子案では全部書かれているので問題ない。しかし、節が一節しかない章がある。この書き方は変更しても問題ないと感じる。実際作業をしながら見やすく、読みやすくしてもらえればと思う。</p> <p>第2号議案 施策・事業の検討について 第2号議案について、委託事業者・事務局より説明を行った。</p>
委員	<p>何点か問題があると考えます。現在、6番線は長距離走行しているが、さらに走行距離が延びると運行本数が減る。ただでさえ本数が少ないが更に減少してしまう。また、労働問題があり、走行距離が延びることにより、運転時間が延び、労働強化に繋がる。北永井の住民がふじみ野駅行きたいという話であれば、違うルートを検討してほしい。</p> <p>町内循環ワゴンについて、バス停の重複率が高いので、路線バスのバス停とは区別し、離れた場所に設置してほしい。乗務員と乗客のトラブル等、乗務員の負担になってしまう。また、運賃に関しても気になる場所である。</p>
事務局	<p>走行距離が延び、運行本数が減るのは事実だと思う。再度ルートの見直しをしたい。北永井経由で、木ノ宮・かしの木ケアセンター前を回るルートを考えていた。三芳町である程度大きな道路は限られているので難しいが、再度考えたい。バス停については、町内循環ワゴン用のバス停を作ることは考えている。</p>
会長	<p>違うルートを考えるとしたら、どのようなルートが可能か教えてほしい。</p>
委員	<p>北永井集会所を経由ということは、以前の7番線のような形かと思うが、町内循環ワゴンを行うのであれば、ふじみ野駅行きの町内循環ワゴンを計画した方が 良いかと思う。また、1番線で鶴瀬駅まで行き、鶴瀬駅から電車に乗る方が、電車代はかかるが早いと思う。6番線をわざわざ迂回して、現在の利用者に不便を強いて、運行本数まで減るとなると、メリットよりも不満の方が増す。西原住宅</p>

	<p>や利用者の少ない八軒家を回らず、道を整備していただき、永久保交差点から北永井集会所に抜ける道があれば良い。道路運送事業者なので道がないと走れないが、そのような道ができることが一番良い。</p>
会長	<p>状況は厳しいとのこと。6番線再編ではなく、町内循環ワゴンでの対応も考えられる。また、道路の整備を含め八軒家を回らず北永井を回ることも考えられる、ということで良いか。</p>
事務局	<p>町内循環ワゴンで回るとは考えられる。Aルートが重複している部分があるが、それをふじみ野駅までとなると時間がかかるので、もう1ルート増やす等考えないと難しい。1ルート40分以内、40分で1時間1本という形にしたい。町内循環ワゴンで新たに別の案を考える。3ルートあると利便性は上がる。</p>
会長	<p>6番線を現状維持し、町内循環ワゴンをもう1ルート増やすことも考えていくということで良いか。2ルートで全町を網羅するのは難しいだろう。</p>
委員	<p>町内循環ワゴンについて、交通審議会でも議論しており、答えは出ていないが、小型バスで生活道路に入れるよう進めていきたい。また、運転免許証返納者や大型バスに乗れない高齢者をサポートしたいと思っている。これをどのような形にするか検討中だが進めていきたい。</p>
委員	<p>6番線再編については、現状維持で良いかと思う。その分、北永井地区は違う路線やコミュニティバスを検討するという方向で進められたら良いと思う。</p>
会長	<p>町内循環ワゴンについて、3ルートは検討したのか。</p>
事務局	<p>予算もあり、2ルートで検討した。3ルートとなると、一周の距離は短くなり、利便性は増すかと思う。しかし、1台増えることでお金はかかる。1ルート約1,000万円必要と想定している。当初は補助金が半分出るはずなので、整備していければと思う。3ルート案も考えていきたい。</p> <p>6番線再編は難しいとのこと、また路線バス側と相談していきたい。できなければ、町内循環ワゴンで対応ということも検討したい。</p>
委員	<p>資料『各種交通手段の役割について』に関して、計画への書き方を注意してほしい。記載したものは基本実施することになる。グリーンスローモビリティやライドシェア等、計画の中に入れるにあたり、「今後、三芳町の交通を良くしていくために様々な選択肢がある」のように書くと良いかと思う。</p> <p>コミュニティバスという用語だが、国でも定義のようなものは出ているが、自治体運営のバスがコミュニティバスと言われる傾向がある。しかし、本来のコミュニティバスとは、「自分たちで必要な交通手段を作り、運行されるバス」という意味である。同資料に①コミュニティバス⑧路線バス委託化と書かれている</p>

<p>会長</p>	<p>が、委託した路線バスはコミュニティバスの範疇に入る。将来的に重要になるのは、コミュニティバスかどうかより、住民が利用する時にわかりやすいかどうかである。各種交通機関の役割についての箇所で、ネーミングをどうするかも含めて検討することを書くといい。</p> <p>6 番線再編について、走行距離が延びるのは効率化の逆行で好ましくない。実際にどこからどこまで利用されているか把握できると、走行距離の短縮ができるのではないかと。一般的に駅から離れる程、利用が減少するので、途中で折り返し等にできると良い。しかし頻度を下げると、乗客は更に減少するので、そこをどう判断するか議論しなければならない。6 番線再編は難しいと思う。乗務員と意見交換等を行い、再度再編案を出すか、来年度は現行のままが良いのではないかと。</p> <p>町内循環ワゴンについて、ぜひ実証実験を行ってほしい。バス停や運行本数、ダイヤ等、実証実験を行い、どこに何が必要か等議論して決めると、路線バスとの重複は減るのではないかと。路線バス側が反対せず、前向きであることがありがたい。引き受けてくれる事業者も併せて検討してほしい。質問だが、ワゴンタイプの 8~11 人乗りとのことだが、10 人と 11 人で免許の種類が違う。どちらになるかで請け負える事業者が変わる。どちらを想定しているかわからないが、どちらにしても運転手が少ないので、請負業者や車両の確保等、詳細な検討は早く行った方がよい。また、運賃について、無理のない体系にする必要がある。支払いやすい金額や可能であれば電子マネーで支払えれば理想である。</p> <p>詳細な部分まで詰め、再度提案いただけるとありがたい。再編案の運行時間・走行距離が延びると運転手の労働強化に繋がるので、この長さが必要か、よく検討いただきたい。</p> <p>6 番線再編は引き続き協議し可能であれば検討する。町内循環ワゴンについては、課題があるが必要ということで、ルート等の検討を進めていきたい。</p> <p>第 3 号議案 三芳町運賃協議分科会設置要綱について 第 3 号議案について事務局より説明を行った。</p> <p>4 閉会</p>
-----------	---